

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成25年5月16日(2013.5.16)

【公表番号】特表2012-522666(P2012-522666A)

【公表日】平成24年9月27日(2012.9.27)

【年通号数】公開・登録公報2012-039

【出願番号】特願2012-503700(P2012-503700)

【国際特許分類】

B 2 8 B 3/20 (2006.01)

【F I】

B 2 8 B 3/20 K

【手続補正書】

【提出日】平成25年3月29日(2013.3.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

セラミック体の製造方法であって、
無機セラミック形成原料を混合してパッチを形成し、
急速に水和可能なセルロース系結合剤と液体溶媒を前記パッチに加え、さらに混合して可塑化混合物を形成し、
前記可塑化混合物を押出成形して未焼成体を形成する、
各工程を有してなる方法。

【請求項 2】

前記セルロース系結合剤がセルロース系粒子からなり、
前記セルロース系粒子の大部分が 15 秒未満の平均孤立粒子水和速度を有することを特徴とする請求項 1 記載の方法。

【請求項 3】

前記セルロース系粒子が 4.0 ~ 7.5 重量%のヒドロキシプロピル、27.0 ~ 30.0 重量%のメトキシル、および 0.0 ~ 1.0 重量%の NaCl を含むことを特徴とする請求項 1 記載の方法。

【請求項 4】

前記セルロース系粒子が内部細孔を含まないことを特徴とする請求項 1 記載の方法。

【請求項 5】

前記セルロース系粒子のかなりの部分が扁平なりボン状の形態を有することを特徴とする請求項 1 記載の方法。

【請求項 6】

前記セルロース系結合剤が不溶性繊維を含まないことを特徴とする請求項 1 記載の方法。

【請求項 7】

前記セルロース系粒子の大部分が、前記押出ダイを通過する前に、完全に水和されることを特徴とする請求項 1 記載の方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0023

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 2 3 】

一部の実施の形態では、セルロース系粒子は内部細孔を含まない。